

国際ロータリー第2500地区第6分區

# 帯広東ロータリークラブ会報



Be A gift to the world

2015-2016年度  
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏郎  
幹 事 加藤 昭治  
メディア委員長 西田 重人

「連：つらなる」

## 第1517回例会

平成28年5月10日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30  
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広

S.Mori



### 2015-2016年度 国際ロータリーテーマ 【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016年度国際ロータリー会長  
K.R.ラビンドラン

### ガバナーテーマ 【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第2500地区ガバナー  
東 堂 明

### 月間テーマ 【青少年奉仕月間】

- ◎起 立 板倉利男 SAA
- ◎友情の握手 板倉利男 SAA
- ◎点 鐘 上野敏郎 会 長
- ◎開 会 宣 言 板倉利男 SAA
- ◎国 歌 斉 唱

#### ロータリーソング 「四つのテスト」

#### ◎ゲスト紹介

帯広市教育委員会 学校教育指導室  
指導主事 奥山 志穂子 様

#### ◎5月結婚記念日を迎える会員

神田 光則 会員 昭和45年5月8日  
池田 誠 会員 平成7年5月28日

#### ◎5月誕生日を迎える会員

古川 豊 会員 昭和17年5月15日  
内山 智洋 会員 昭和18年5月28日  
齊藤 蓮輝 会員 昭和20年5月13日  
城戸 秀和 会員 昭和38年5月12日  
大池 梨華 会員 昭和63年5月31日



#### ◎バースデーソング

- ◎乾 杯
- ◎会 食

#### 会長挨拶

上野敏郎 会長

5月も中旬を過ぎようとしていますが、今月は「青少年奉仕月間」となっています。

私の任期がだんだん終わりに近づいておりますが、終わりに近づくにつれて出席率が非常に良くなってきており、これを喜んで良いものなのか、悲しんで良いものやら分からない心境であります。もう少しお願いしたいと思います。

今日は、その意味からも、帯広ローターアクトクラブの道見会長さんはじめ役員のみなさんをお迎えしての例会となっています。後ほど、卓話をいただくことになっておりますが、より、ローターアクトクラブの活動に理解を示し、継続的な支援を続けていくことが大事だと感じています。

また、アクトの活動を支援することも重要ですが、もう一つには、このまちの20代、10代の子どもたちの考え方、行動に大人として関心を持つことも「青少年奉仕月間」の目的に叶うものだと考えます。

帯広市には、吉村市長時代に始まる訳ですが、すべての子どもを対象にする「青少年健全育成活動」というものがあります。

いわゆる、非行が代表的な訳ですが、問題のある子どもだけではなく、すべての子どもを対象に、まち全体で子どもたちの成長を応援しようとする主旨になっています。

具体的には、町内の子ども会活動の支援が中心になりますが、この活動も、子どもが町内にいないなども理由で、日々の活動がやりにくくなってきており、組織の形も大きく変えざるを得ない現状になっているとみております。

私は、形は変えても、スタートの考え方は変えないで、活動の継続をしてもらいたいものだと願うところです。よって、子どもの声がうるさいことを理由に保育園が作



れないことが全国的なニュースになっていますが、この問題も、もっと事前に、大人の責任として、子どもにとって一番いい解決は何かを考えることができなかつたものかと思ひ、残念に思っているところです。

いずれにしても、元気な子どもたちの声が聞こえないまちは、いいまちはと言えないのでありまして、子どもたちの成長を応援する環境づくりには、急がず、休まずの心構えで臨んでいきたいものだと思います。

私の年度もあと1か月半となりますが、みなさんの大きなご協力をいただきながら、努めてまいりたいと考えております。

どうぞ、よろしくお願い致します。

以上、会長挨拶とします。

ありがとうございました。

**プログラム** 十勝ロータリー奨学会 城戸 秀和 委員長

**【特別支援教育の現状と課題】**

帯広市教育委員会  
学校教育部指導室

指導主事 奥山 志穂子 様



皆さん改めましてこんにちは。今、ご紹介頂きました帯広市教育委員会・学校教育部指導室から参りました指導主事をしております奥山と言います。どうぞよろしくお願いいたします。

このような場にお招きいただきまして大変緊張しております。限られた時間の中で、どれだけ皆さんにお伝え出来るか不安な所もありますが、お耳を貸していただければありがたいなあと思ひます。

日頃より皆様におかれましては、教育委員会の各事業におきましてご理解・ご協力を賜っていますことを改めて感謝申し上げます。

私、教育委員会に参りまして7年経っています。その前までは小学校の教員をしておりました。帯広市内では柏小学校と明星小学校に勤務しておりましたので、もしかしたら皆様の中でご縁があって、お世話になった方もいらっしゃるのではないかなあと思っております。

教育委員会では昨年、一昨年と特別支援教育を担当させていただいております。今年度は残念ながら担当を外れてしまったんですが、それまでの中で、そして今年の動きについてご説明させていただきます。

まず、国の大きな流れということと、事前に新聞の資料を配らせていただいておりますので、この辺りをご覧くださいになるとわかると思ひますが、昔は特殊学級ですとか特殊教育と言われていたものが、平成19年度に特別支援教育、特別なサポートが必要なお子様のための教育ということで、文部科学省を中心に大きな動きが変わりました。

その後、平成25年9月には学校教育法が一部改正されまして、より特別支援教育を子供さんの状況・教育的なニーズ、そして保護者の意見を十分に聞きながら、より



専門家のアドバイスや意見を入れながら、総合的に就学とか教育の判断、この子は特別支援学級に在籍した方がいいんじゃないかなあ、通常学級でやっていけるお子さんかなという判断をしていきたいと思いますという法が改正されております。



又、同じ年の10月には文部科学省から各教育委員会・自治体が、その就学指導、教育支援に関わる体制の整備を、よりきめ細やかに、それからお子さん1人ひとりに応じた「個」に応じた細かい指導をしっかりとるように、そして、幼少時代から中学・高校卒業、就学までを見据えた一貫したサポートをより強化していきましょうという動きが現れております。それを基に帯広市でも例えば今まで就学支援委員会、1年生に入学する時にどのクラスに就学するかを相談する委員会という名称だったのを、広く教育支援委員会、そのお子さんの長い教育をどのように支援していくかに名称を変更したり、それから構成員なんですけれども、就学を判断するスタッフが今までは30名程の専門機関や小中学校の教員が行っていたんですけども、今は50名以上の体制で行っております。又、事務局体制の強化ということで、私たち教育委員会の人間も1つの会ではなく、2つ3つの横断的にお子さん達に関わるスタッフを強化して、学校・地域の皆様・関係機関と連携した特別支援教育を進めているところでございます。

次の資料をご覧くださいになると、今、国・道・帯広市の特別支援教育の概要をお伝えできると思ひます。

◎閉会宣言  
◎点 鐘

城倉利男 S A A  
上野敏郎 会長

**次週プログラム** 青少年奉仕・ローターアクト委員会

5月17日(火)「ゲスト卓話」  
帯広ローターアクトクラブ 会長 道見 賢人 様  
「銀行を味方にして、ビジネスを加速させる方法」